発行／平成 30 年 3 月　八代市建設政策課

第4回八代市景観まちづくり会議 ニュース vol.4

春の訪れを待ち遠しく感じる2月28日（水）、「第4回八代市景観まちづくり会議」を開催しました。会議には市内の各地域、各団体から27名の参加がありました。

グループワークでは、これまでの会議で出された意見をとりまとめた「八代市景観まちづくり提言書（案）」をもとに、内容の確認を行うとともに、「自然・みどり」「生活・まち」「歴史・文化」の3グループに分かれて、全体キャッチコピーや“眺めの小路”ごとのキャッチフレーズ、自分達ができる景観まちづくり活動について意見を出し合いました。

また、熊本県立大学柴田祐教授から、住民主体の景観まちづくりの取り組みについて紹介がありました。

プログラム

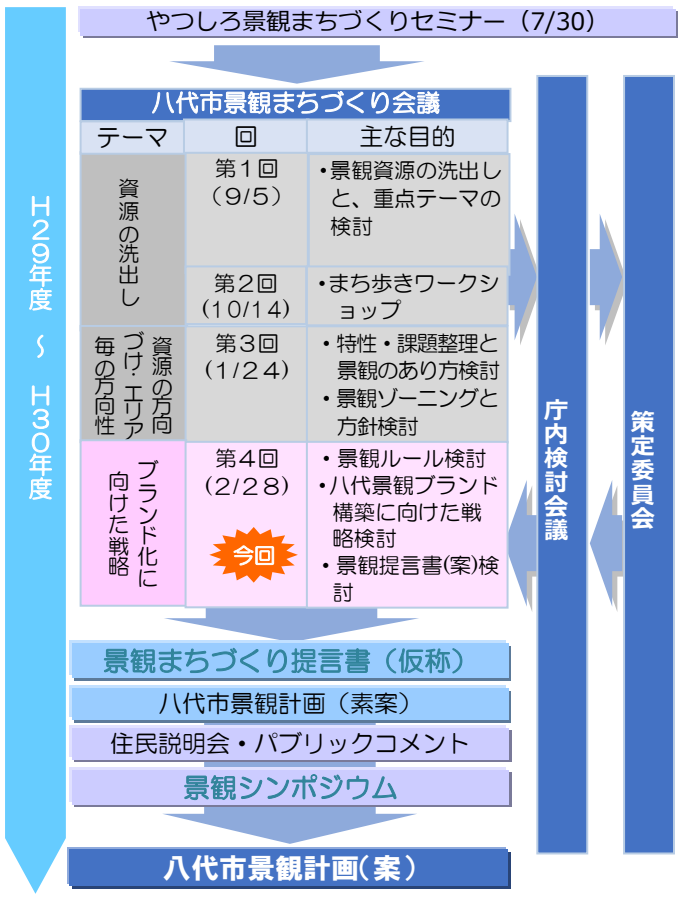
19:00　1. 開会・あいさつ
19:05　2. 全体の流れと本日のプログラム説明
19:15　3.「景観まちづくり提言書」、「景観計画」の骨子イメージの解説
19:25　4. 柴田先生のアドバイス
19:35　5. 提言をまとめよう！
20:30　6. 発表・まとめ
20:50　7. 閉会・あいさつ



テーマ:「提言をまとめよう！」
～提言骨子と今後の活動の検討～
場　所：やつしろハーモニーホール3F　大会議室B



▼ 八代市景観計画策定の流れ



▼ ワークショップの様子

<自然・みどり班>





<生活・まち班>





<歴史・文化班>

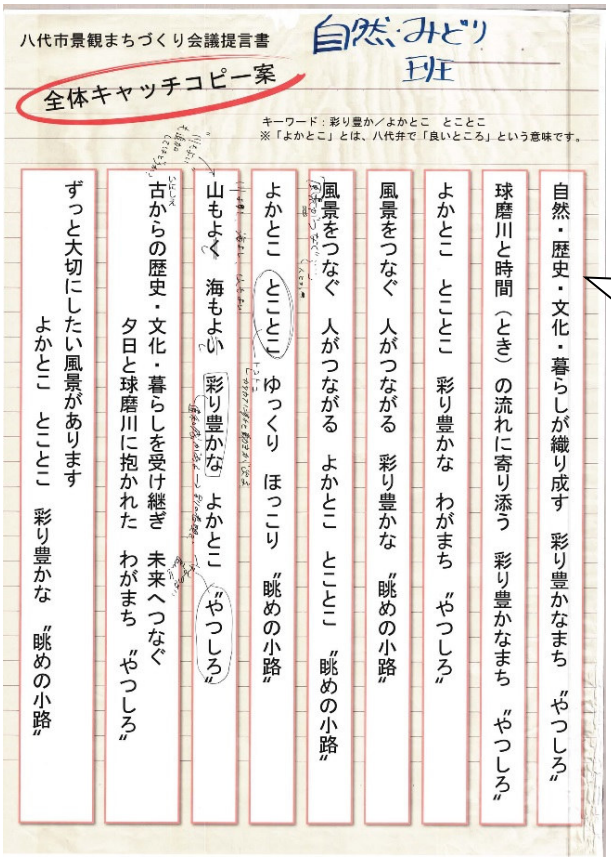




お宝景観のあり方を考える

各エリアの景観のあり方について、各班から出された意見を紹介します。

■各班の成果 【自然・みどり班】



①全体キャッチコピー案

・風景をつなぐ→「風景がつなぐ～人と…」
・とことこ→トコトコ（カタカナにすると動きが出る）
・川もよい、も追加してはどうでしょうか？
・川よし、海よし、山もよし
・彩り豊かなは違和感があるので、別の表現で。
・“やつしろ”は、入れた方が良い！



②海辺の〝眺めの小路〟

【特性】
・堤防が高くて夕日が見えない。

【写真】
・夕方、鳥がいっせいに飛び立つ光景が良い。
・天使のはしごが見える時がある。
・11 月頃、水島の上に夕日が沈む。季節によって変わる。

【景観のあり方】
・水島の形が年月によって少しずつ変わっている。
・対岸の住宅地が良い。漁港らしさがある。
・水島の橋のデザインはコンクリートでよくない。木の橋が合う。
・橋をもう少し歴史の雰囲気に。
・欄干をもう少し木目風の色にする。
・補強剤が目立つのはダメ。
・水銀灯より石の灯にしたい。
・根固めブロック、消波ブロックは景観に合わない。

【私たちにできること】
・駐車場周辺の花植え。

【その他】
・干潟を整備して、シャク取り等を楽しめる場所にしてはどうか。
・夕日のスポットとして紹介すればもっと人がくる。

■各班の成果 【自然･みどり班】



③干拓農地の〝眺めの小路〟

【景観のあり方】

・農家の集落や樋門群を絵に入れたい。
・八代平野＝開拓の歴史。集落の入った景観にしたい。
・耕作放棄地に蓮華を植えたい。
・道路脇に蓮華の花を植えても良い。
・農家組合の力が弱くなって水路の整備ができなくなった。
・休耕田を作らない。少なくする。

【私たちにできること】

・石垣きの清掃。

【その他】

・石積みを活用したい。（天草からもってきた石。石の種類で年代がわかる）
・素堀の水路であれば、生物の住処になる。



④山村集落の〝眺めの小路〟

【キャッチコピー】

・棚田は残したい（第三者目線で）

【写真】

・木（山）の手入れができていない。

【景観のあり方】

・棚田は維持するのが大変。
・田んぼのオーナー制度（八代でもやっている）。
・石垣を保全する仕組みづくりを作る。
・鹿よけの施設が大きくなって景観を損ねている。
・今は一人で農作業が出来ることもあり、周りの人と協力する機会が減ってきた。機械化が進んでいる。
・鹿よけテープ、緑の金網は目立たない色にしたい。

【その他】

・景観を守りたい気持ちを育てるのが大切。

■各班の成果 【自然･みどり班】



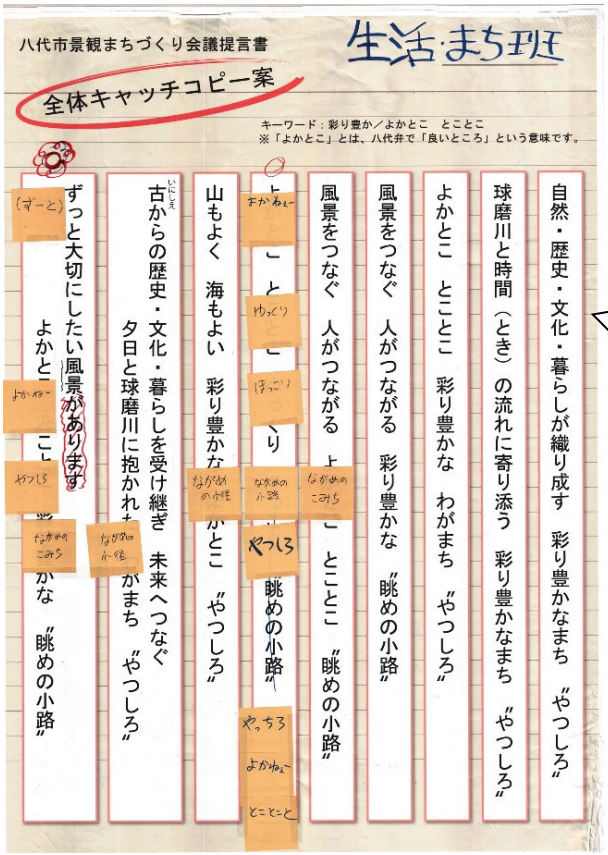
⑤河川の〝眺めの小路〟

【写真】
- 川沿いに桜の木などが欲しい。
- 桜を植える会が苗を配ったりしていた。活動して欲しい。

【景観のあり方】
- 走るための目標物があれば良い。
- 水に入って遊べる空間ができると良い
- 護岸にはコンクリートはダメ。

【私たちにできること】
- 子どもたちに景観の教育をしてほしい。

■各班の成果 【生活･まち班】



①全体キャッチコピー案
- ずーと大切にしたい風景 よかねー やつしろ ながめのこみち
- 古からの歴史･文化･暮らしを受け継ぎ 未来へつなぐ 夕日と球磨川に抱かれた ながめの小径 やつしろ
- 山もよく 海もよい 彩り豊かな ながめの小径 やつしろ
- よかねぇー ゆっくり ほっこり ながめの小路 やつしろ
- やっちろ よかねぇー とことこと ながめの小路 やつしろ
- 風景をつなぐ 人がつながる ながめのこみち とことこ 眺めの小路

お宝景観のあり方を考える

■各班の成果 【生活･まち班】



②本町アーケード街の〝眺めの小路〟

【キャッチコピー】

・がめが通る、笠鉾が通る。
・妙見さんの通る。

【景観のあり方】

・笠鉾のモチーフを町ごとにおいていく！柱にとりつける（本蝶蕪、笠鉾）
・シャッターには妙見さんの絵を描いておくのもよい。
・菖蒲などもありでは（5月）。
・切り草のイグサの展示は香りもあってよい。
・いぐさではインパクトが小さい。
・祭りのモニュメントを飾る施設ができるので、それをモチーフに。
・明かりっぽいものを年中設置。
・15（いちご）の日、コーヒーを出している。サービスが提供されていることを知らない人が多いのでは。
・屋台、八代マルシェなどのイベントに行くにしては駐車場がない。

③日奈久温泉の〝眺めの小路〟

【景観のあり方】

・道が狭い。駅からの通りが危ない。



④郊外住宅地の〝眺めの小路〟

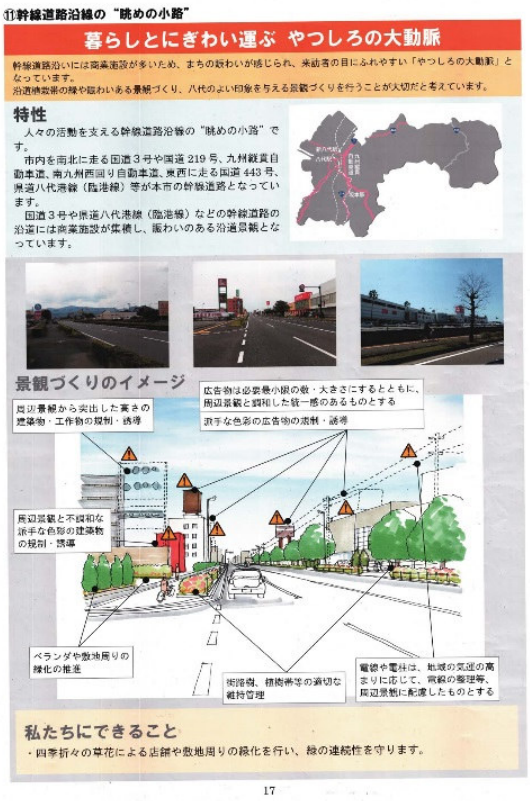
【キャッチコピー】

・緑豊かな　ガーデンシティ



お宝景観のあり方を考える

⑤幹線道路沿線の〝眺めの小路〟

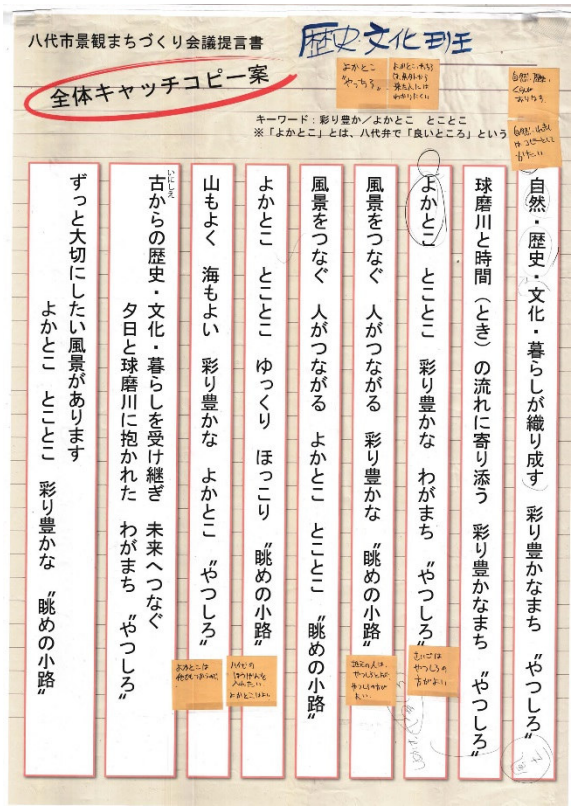




■各班の成果 【歴史・文化班】

①全体キャッチコピー案

・よかとこ“やっちろ”
・よかとこ、やっちろは県外から来た人にはわかりにくい。
・自然、歴史、くらしがおりなす。
・自然、歴史はコピーとしてかたい。
・よかとこは他でも使うので。
・八代の方言を入れたい。よかとこはよい。
・地元の人は、やつしろとよぶ。やつしろの方がよい。
・最後はやつしろのほうがよい。



②八代城跡・市役所周辺の〝眺めの小路〟

【キャッチコピー】
・心ゆさぶる八代城堀を永遠(とわ)のいやしに

【特性】
・城下町でなく城郭を強調する。
・このエリアに寺はないので削除する。
・位置図がわかりにくい。八代城はここなど、わかりやすく。

【写真】
・松江城の臥龍梅が満開。
・松江城の庭園など城にまつわる代表的な写真を。

【その他】
・市民のオアシス or 観光客か？→同時にアピール。
・市民のいやしの方が優先。
・石垣の草取りは年2回、ボランティアが実施。

■各班の成果 【歴史･文化班】



③城下町の〝眺めの小路〟

【キャッチコピー】

・玄関口ではないので、削除を。
・徳渕の津は貿易港、経済･産業発展の起点。
・時代こえても　いつも　そこに　城下町の風情が香るさつま街道

【私たちにできること】

・大きい企業の維持管理、看板（→私たちが綺麗にしています）PR でまちづくりに取り組む。
・企業と市民のくみあわせでまちなみの維持管理を。
・八代農業高校など、緑に関わる学生のとりこみで維持管理を。

④妙見宮の〝眺めの小路〟

【キャッチコピー】

・紙すきの里　妙見さん
・紙と神（かみというキーワード）

【写真】

・トタンの印象がよくない。

【私たちにできること】

・残したいものは観光資源として情報発信を。
・妙見祭の見方の文化を伝えたい→桟敷から見る（砥崎の河原）
・参道の入口に鳥居がほしい。
・妙見さんのリスペクトを。バーチャルで各地の妙見祭の動きが見られると良い。

お宝景観のあり方を考える

■各班の成果 【歴史･文化班】



⑤鉄道沿線の〝眺めの小路〟

【特性】

・肥薩線が 20 世紀残したい遺産に登録された。

・オレンジ鉄道は産業遺産としての価値がある。

【写真】

・球磨川第1橋梁に差し替えを。



熊本県立大学　柴田祐教授からのアドバイス

柴田教授から、景観まちづくりについてのアドバイスと、京都市、三田市の事例を紹介していただきました。

- 景観まちづくりには、未来に向かって八代市の良いものをどう維持していくかが、非常に大事。
- キャッチコピーには人の動きがあった方が良い。自然･みどり班で挙がっていた「風景が人をつなぐ」など、検討してほしい。
- 分かりやすい事例として、京都市の姉小路地区と、兵庫県三田市のオープンガーデンについて紹介。

・京都市ではマンションの建設反対運動を契機に、住民が景観まちづくりを考えるようになった。マンションを建てても良いが、一階部分は商業空間とし、住居部分は家族向けとするなどのルールを決めた。市が補助し、町屋の改修を進めている。

・三田市では、当初4人の主婦が始めたオープンガーデンが、翌年は 84 軒、その翌年は 100 軒が自宅の庭を公開し、普通の住宅地が花であふれる住宅地になっていった。

・継続のポイントは「楽しむ」こと。





